


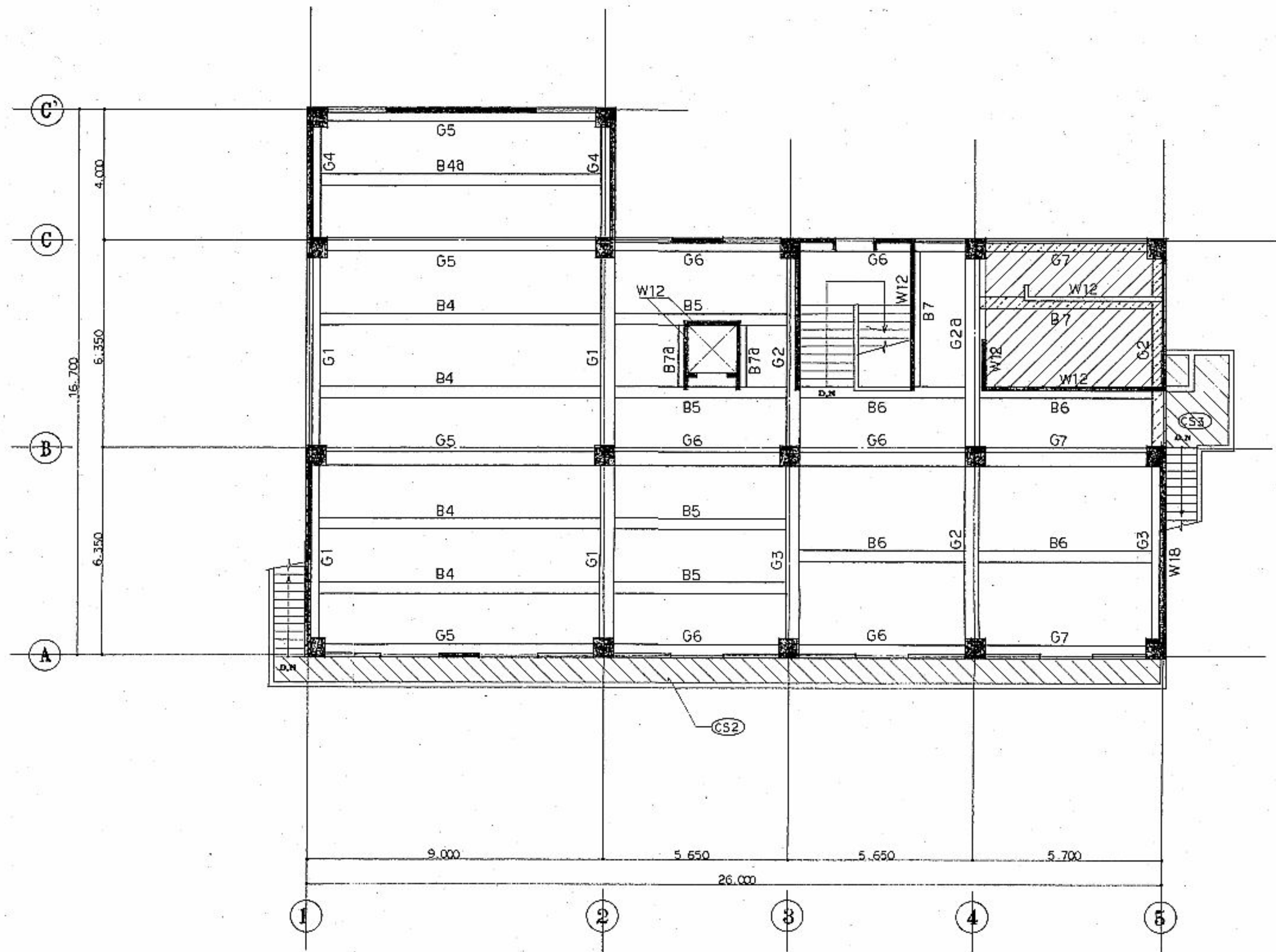
- (注) 特記なき限り下記に依る
- 1.基礎下端GL-1,100とする

2.基礎梁上端GL+500とする
3. 印は土間コンクリートを示す(範囲レベルは意匠図参照)

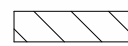
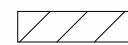
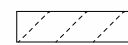

4. S1上端GL+630とする
5. FS1上端GL-500とする


6. FS2上端GL-100とする
7. コンクリート壁W15を示す

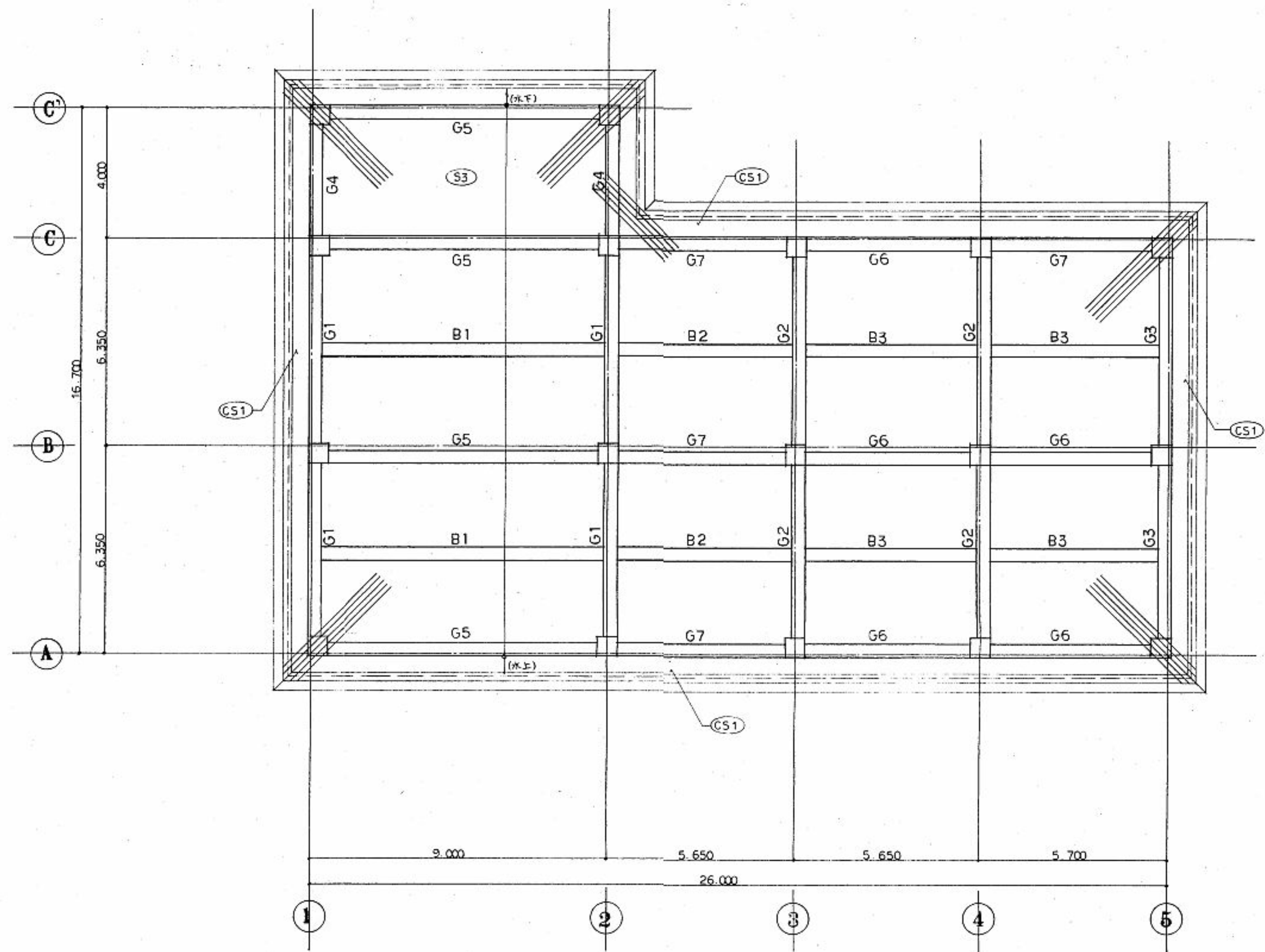
備考					<div> 有 限 公 司 サ ク ラ イ 設 計</div> <div>新 潟 県 魚 沼 市 小 出 島 1 2 0 9 番 地 1 6 （ 小 出 東 町 ）</div> <div>一 級 建 築 士 事 務 所 登 録 (〒) 第 1 9 2 5 号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990</div> <div>一 級 建 築 士 登 録 第 2 4 2 2 2 号 管 理 建 築 士 浅 井 守 人</div>	設計者等氏名	建築士登録番号等	工事名称	年 月	2 0 2 3 . 1 0	図面番号
	五十嵐 正 充	一級建築士 第129518号	5児工第3号 旧ひかり保育園解体撤去工事				S - 0 1				
			図面名称	縮 尺		1/100	意 電 機				
					基礎伏図		(機)				



(注) 特記なき限り下記に依る

- | | | |
|---|---|---|
| 1. コンクリート上端 2 F L - 25 とする | 3.  印スラブ上端 2 F L - 180 とする | 5. スラブは S 1 とする |
| 2.  印スラブ上端 2 F L - 160 とする | 4.  印梁上端 2 F L - 160 とする | 6.  コンクリート壁 W 1 5 を示す |

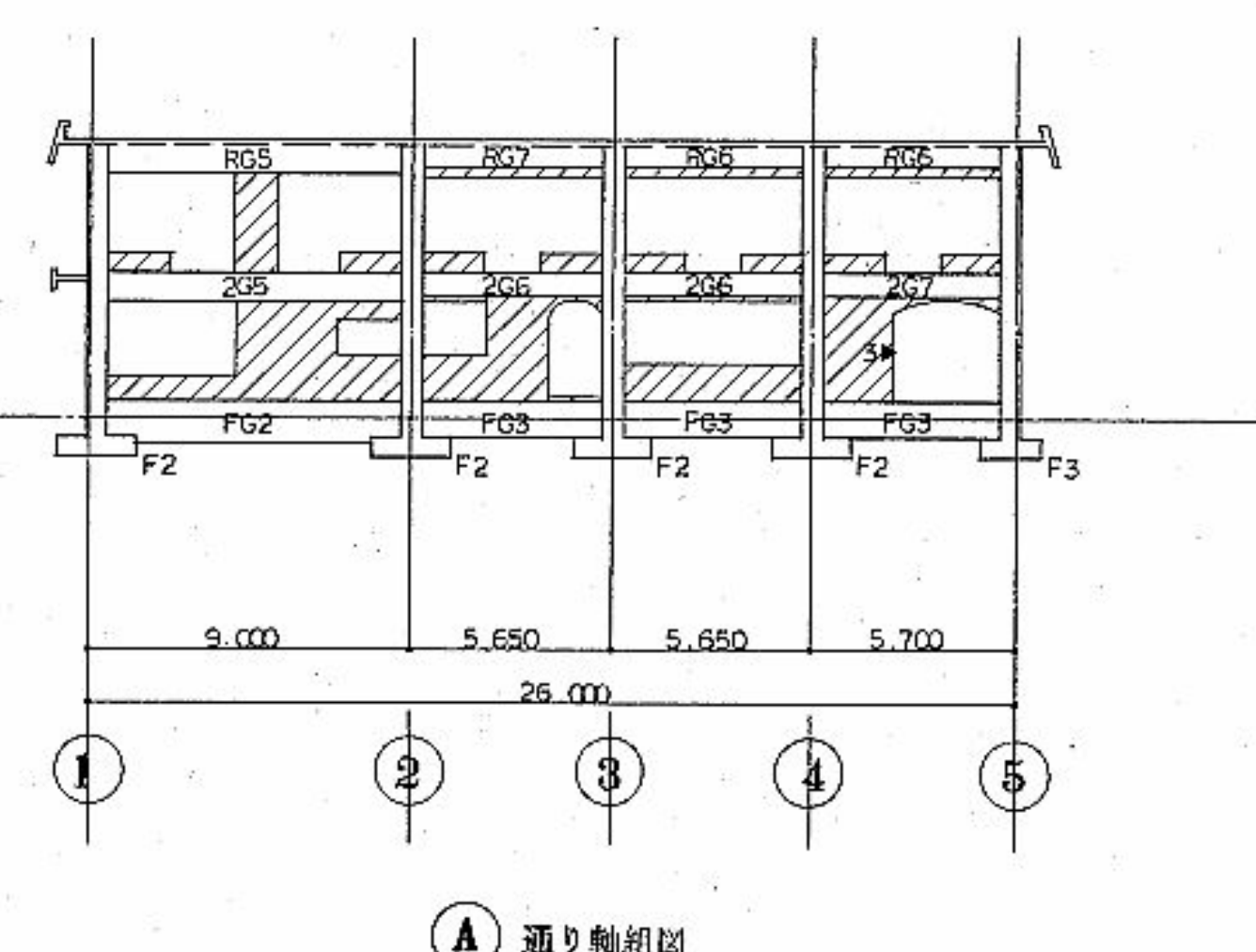
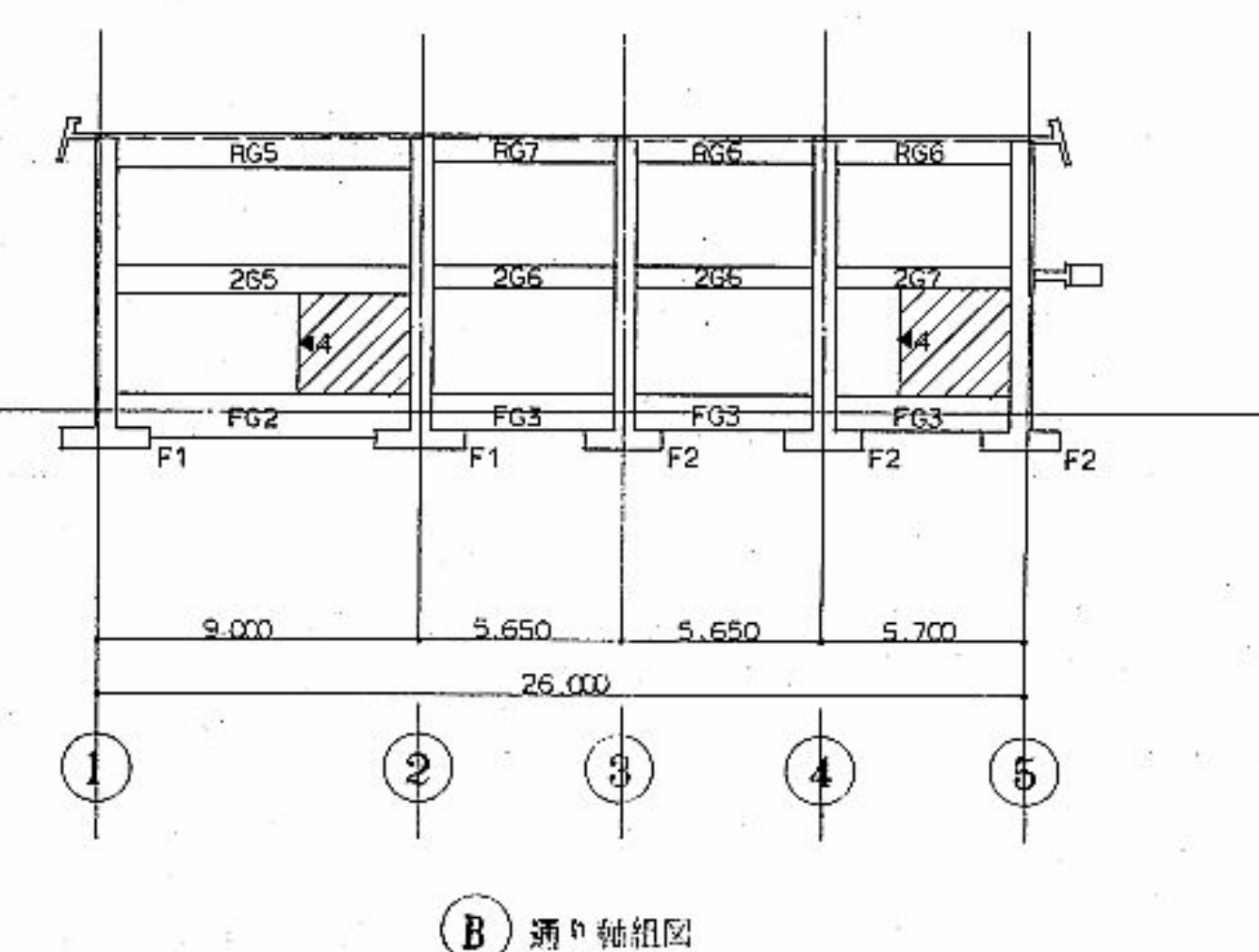
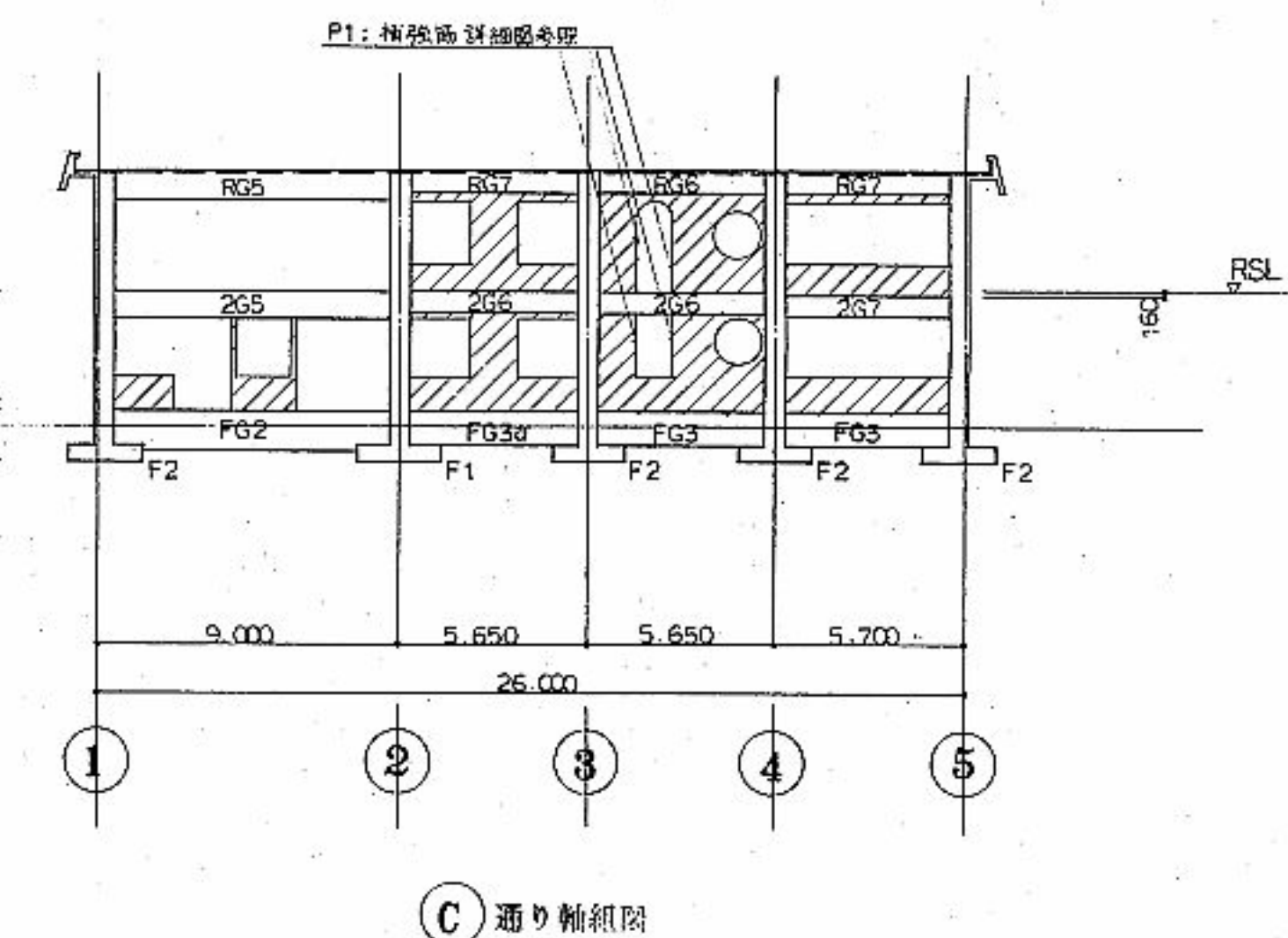
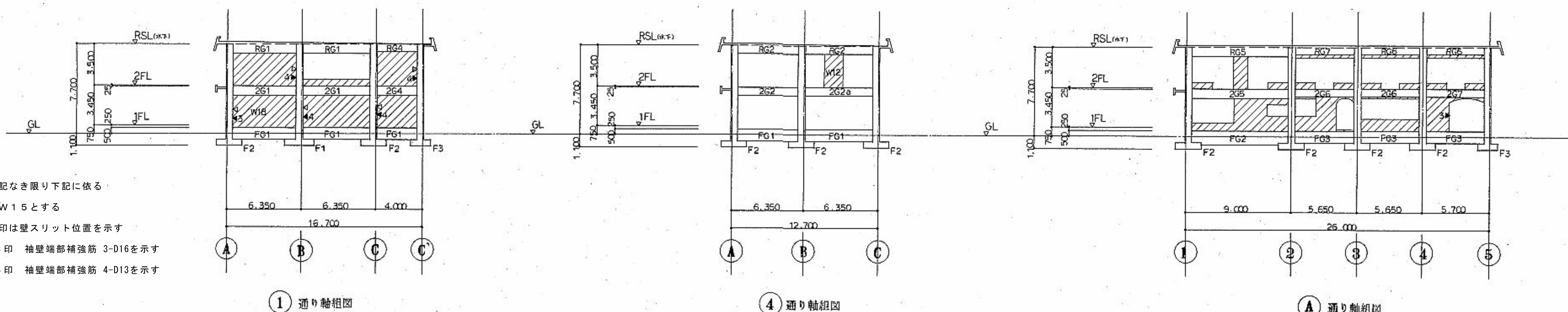
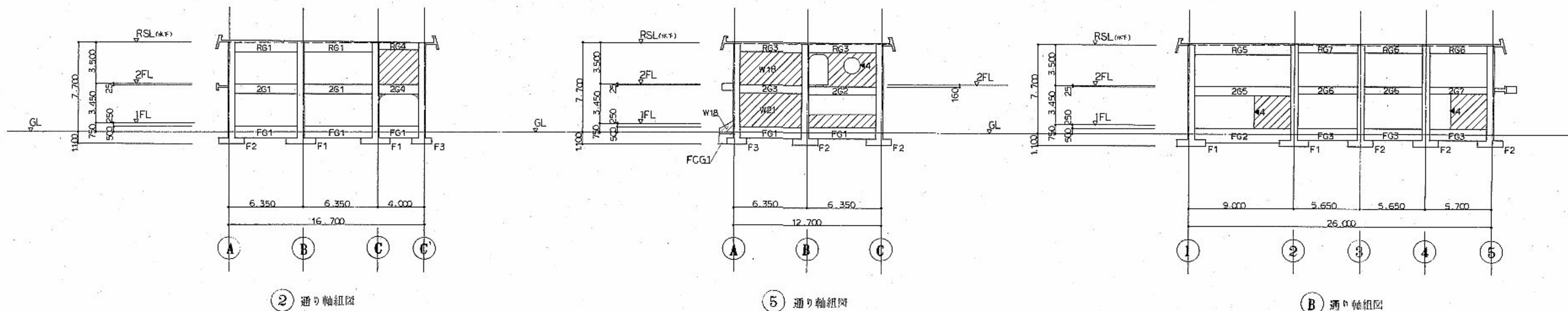
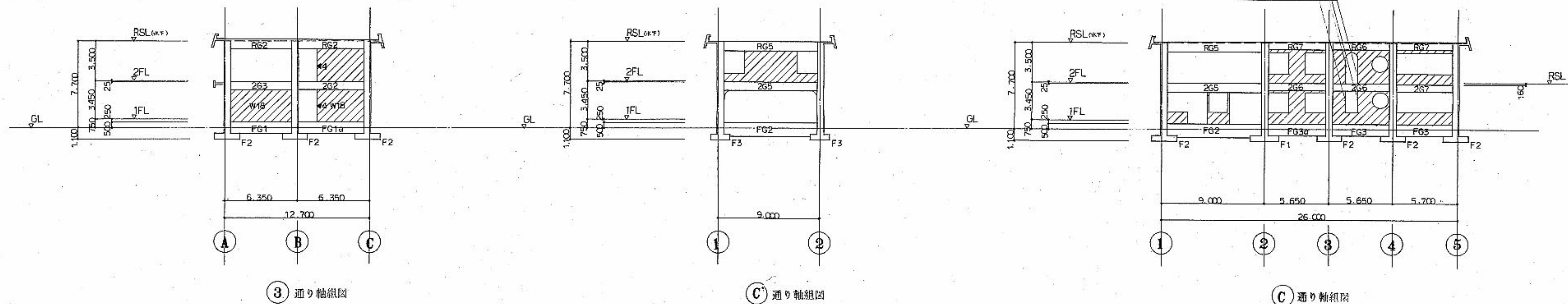
備考					 有 限 会 社 サ ク ラ イ 設 計 新 潟 県 魚 沼 市 小 出 島 1 2 0 9 番 地 1 6 (小 出 東 町) 一 級 建 築 士 事 務 所 登 録 (特) 第 1 9 2 5 号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一 級 建 築 士 登 録 第 2 4 2 2 2 2 号 管 理 建 築 士 浅 井 守 人	設計者等氏名 五十嵐 正 充	建築士登録番号等 一級建築士 第129518号	工事名称 5児工第3号 旧ひかり保育園解体撤去工事	年 月 2 0 2 3 . 1 0	図面番号 S - 0 2			
								図面名称 2 階 床 梁 伏 図	縮 尺 1/100	意 電 機 機			



(注) 特記なき限り下記に依る

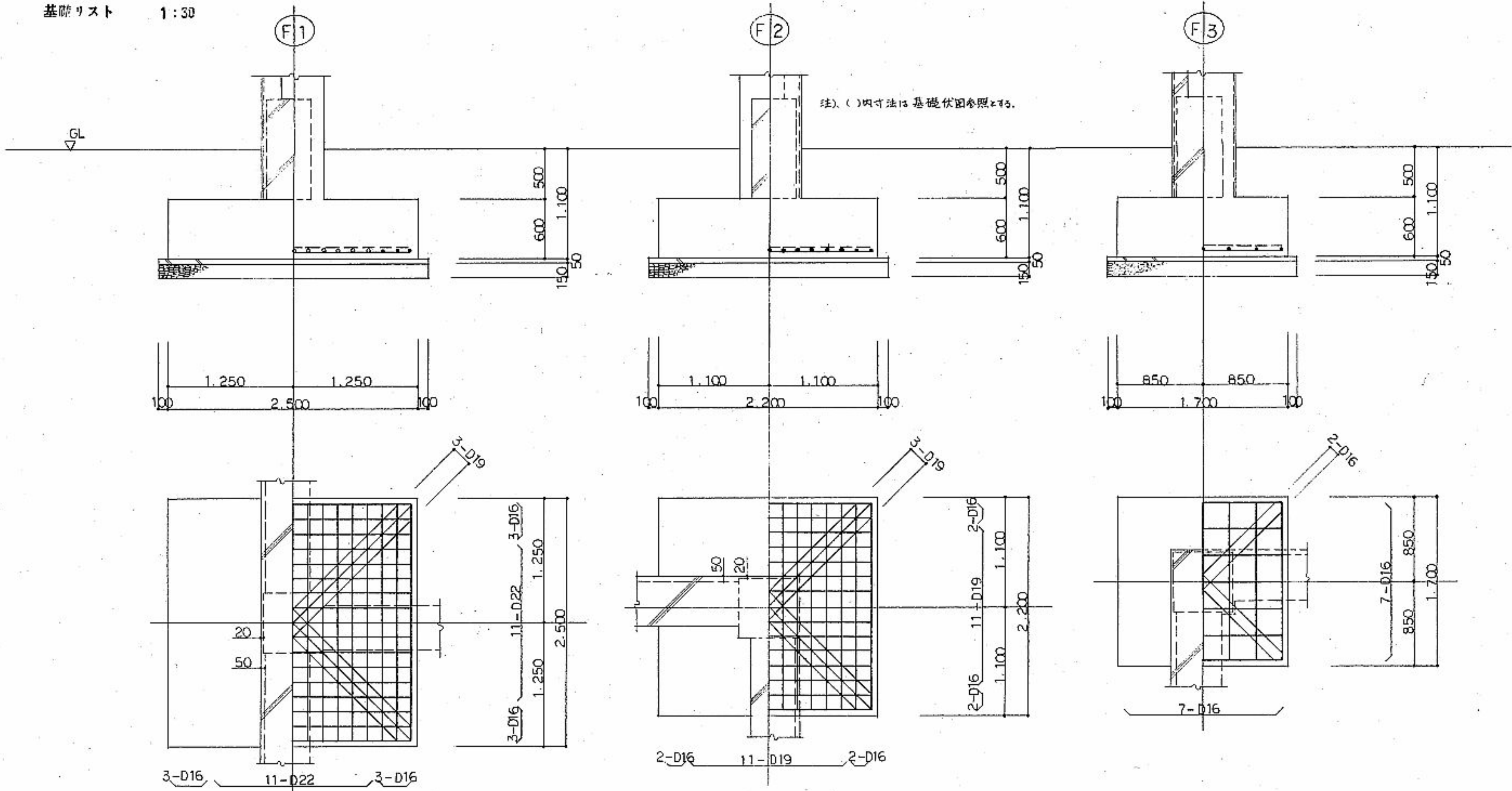
1. スラブはS 2とする
2. 大梁上端R S L (水下) ±0とする
3. スラブ上端 (水上) はR S L (水下) +150とする (小梁上端=スラブ上端)

備考		有限会社 サクラ イ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等氏名	建築士登録番号等	工事名称 5児工第3号 旧ひかり保育園解体撤去工事	年 月 2023. 10	図面番号 S-03
	五十嵐 正充		一級建築士 第129518号				
					図面名称 R階床梁伏図	縮 尺 1/100	意 電 機 構



- (注) 特記なき限り下記に依る
- 壁はW15とする
 - △印は壁スリット位置を示す
 - ▲3印 袖壁端部補強筋 3-D16を示す
 - ▲4印 袖壁端部補強筋 4-D13を示す

基礎リスト 1:30



基礎梁リスト 1:50

符号	FG1, FCG1	FG1a	FG2	FG3	FG3a			
	端部 中央部	端部 中央部	端部 中央部	端部 中央部	2通り端 中央部 3通り端			
断面								
上筋	3-D22 2-D22	4-D22 2-D22	4-D22 2-D22	3-D22 2-D22	4-D22 2-D22 3-D22			
下筋	3-D22 2-D22	3-D22 2-D22	3-D22 4-D22	3-D22 3-D22	3-D22 3-D22 3-D22			
あばら筋	D13φ200	D13φ200	D13φ200	D13φ200	D13φ200			
腹筋	4-D13	4-D13	6-D13	4-D13	4-D13			
符号	FB1	FB1a	FB2	FB3	FB3a			
	端部 中央部	全断面	3通り端 中央部 2.4通り端	端部 中央部	全断面			
断面								
上筋	3-D19 3-D19	3-D19	3-D19 4-D19 6-D19	3-D19 3-D19	3-D19			
下筋	3-D19 5-D19	3-D19	3-D19 5-D19 3-D19	3-D19 5-D19	3-D19			
あばら筋	D10φ200	D10φ200	D13φ200	D10φ200	D10φ200			
腹筋	4-D13	4-D13	2-D10	2-D10	2-D10			
〔注〕特記なき限り下記に依る								
1. 市街地筋 D10φ800								

備考

有限会社 サクライ 設計
新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町)
一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990
一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人

設計者等氏名 五十嵐 正充
建築士登録番号等 一級建築士 第129518号

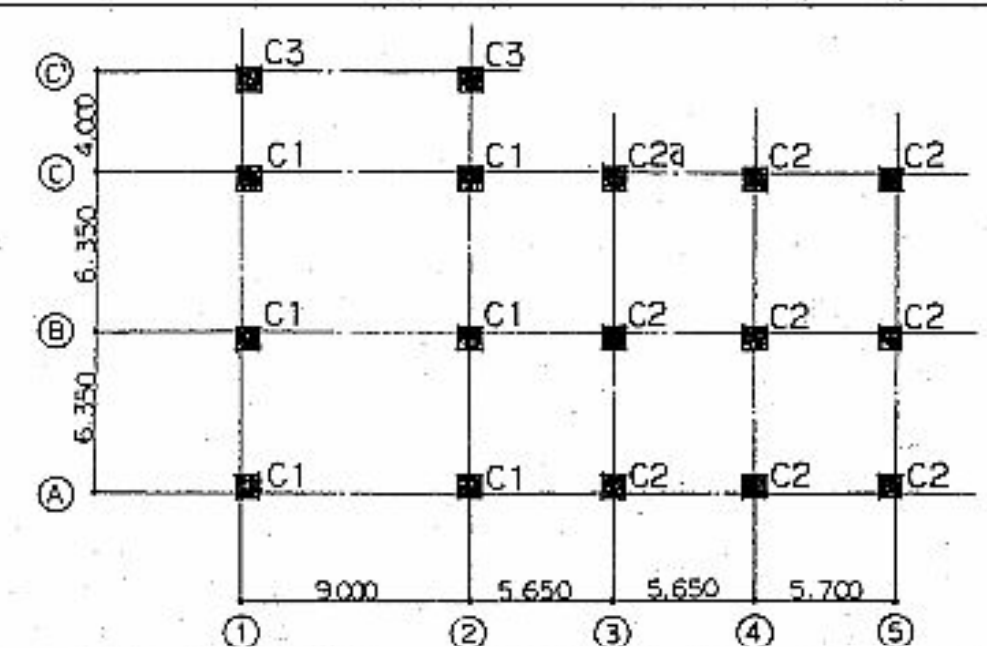
工事名称 5児工第3号 旧ひかり保育園解体撤去工事
図面名称 基礎リスト、基礎梁リスト

年月 2023.10
縮尺 1/30 1/50
図面番号 S-05
意電機構

大梁リスト																							
符 号	G 1			G 2 , G 2a			G 3			G 4			G 5			G 6			G 7				
	B通り端 中央部 A,C通り端			B通り端 中央部 A,C通り端			B通り端 中央部 A,C通り端			全断面			1通り端 中央部 2通り端			端 部 中央部			24通り端 中央部 3,5通り端				
R 階																							
	上 端 筋 5-D25 3-D25 5-D25			5-D25 3-D25 4-D25			4-D25 2-D25 3-D25			3-D25			5-D22 3-D22 6-D22			4-D22 2-D22			5-D22 3-D22 4-D22				
	下 端 筋 4-D25 4-D25 3-D25			5-D25 4-D25 3-D25			3-D25 3-D25 3-D25			3-D25			3-D22 6-D22 3-D22			3-D22 3-D22			4-D22 3-D22 3-D22				
	あばら筋 D13φ200			D13φ200			D13φ200			D13φ200			D13φ200			D13φ200			D13φ200				
	腹 筋 2-D10			2-D10			2-D10			2-D10			2-D10			2-D10			2-D10				
2 階																							
	上 端 筋 5-D22 3-D22			6/5-D22 3-D22 5-D22			3-D22 2-D22			4-D22			6-D22 3-D22 5-D22			5-D22 3-D22			6-D22 3-D22				
	下 端 筋 3-D22 3-D22			6/3-D22 3-D22 3-D22			3-D22 2-D22			3-D22			3-D22 4-D22 3-D22			3-D22 3-D22			5-D22 3-D22				
	あばら筋 D13φ200			D13φ200			D13φ200			D13φ200			D13φ200			D13φ200			D13φ200				
	腹 筋 2-D13			2-D13			2-D10			2-D10			2-D10			2-D10			2-D10				

小梁リスト					柱リスト								
符 号	B 1		B 2		B 3	B 4		B 4 a	符 号	C 1	C 2	C 2 a	C 3
	1通り端 中央部 2通り端		2通り端 中央部 3通り端		端部 中央部	1通り端 中央部 2通り端		端部 中央部		柱頭 柱脚	全断面	柱頭 柱脚	柱頭 柱脚
断 面									2 階				
	上端筋 ④-D22 ⑥-D22 ⑤-D22		⑤-D22 ③-D22 ③-D22		③-D22 ③-D22	③-D19 ③-D19 ⑤-D19		④-D19 ④-D19		主筋 10-D22 8-D22	8-D22	12-D22 8-D22	14-D22 8-D22
	下端筋 ④-D22 ⑥-D22 ④-D22		④-D22 ④-D22 ②-D22		②-D22 ④-D22	③-D19 ⑤-D19 ③-D19		④-D19 ⑥-D19		部筋 D13φ100	D13φ100	D13φ100	D13φ100
	あばら筋 D13φ200		D13φ200		D13φ200	D10φ200		D10φ200		X筋 D10φ500	D10φ500	D10φ500	D10φ500
符号	B 5		B 6		B 7	B 7 a				全断面	全断面	全断面	全断面
	2通り端 中央部 3通り端		端部 中央部		端部 中央部	全断面			1 階		C1に同じ	C1に同じ	C1に同じ
断 面													
	上端筋 ⑤-D19 ③-D19 ④-D19		④-D19 ③-D19		③-D19 ④-D19	③-D19				主筋 8-D22			
	下端筋 ③-D19 ④-D19 ②-D19		②-D19 ④-D19		③-D19 ⑤-D19	③-D19				部筋 D13φ100			
	あばら筋 D10φ200		D10φ200		D10φ200	D10φ200			X筋 D10φ500				
符号	B 5		B 6		B 7	B 7 a				全断面	全断面	全断面	全断面
	2通り端 中央部 3通り端		端部 中央部		端部 中央部	全断面				全断面	全断面	全断面	全断面
	2通り端 中央部 3通り端		端部 中央部		端部 中央部	全断面				全断面	全断面	全断面	全断面

KEY PLAN

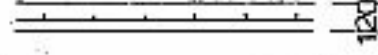
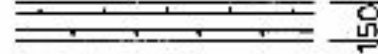
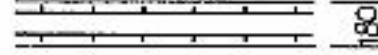
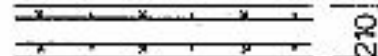
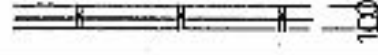


(註) 特記なき限り下記に依る
1. 巾止メ筋 D10φ800
2. 小梁主筋は全て SD35とする。(○印)
3. 柱、梁仕口部、タリは30以上とする。(詳細図参照)

スラブリスト

注). A部中央部は B部は A部筋部配筋に依り.

符 号	スラブ厚	区分	短辺方向			長辺方向			備 考
			A 部		B 部	A 部		B 部	
			端 部	中 央 部	端 部, 中 央 部	端 部	中 央 部	端 部, 中 央 部	
S 1	130	上	D13 D10 200			D10 200			モチア配筋
		下	D10 200			D10 200			
S 2	130	上	D13 200			D10 200			モチア配筋
		下	D13 D10 200			D10 200			
S 3	150	上	D13 150			D13 D10 200			モチア配筋
		下	D13 150			D13 D10 200			
FS1	200	上	D13 D10 200			D10 200			モチア配筋
		下	D13 D10 200			D10 200			
FS2	200	上	D13 D10 200			D10 200			モチア配筋
		下	D10 200			D10 200			

壁リスト					注). 開口部補強筋は鉛組図(図)光とする。又外部はコンクリート打付 20 とする。							
符 号	壁 厚	区 分	配 筋		断 面	開口部 (≦ 1,000 × 1,000)			開口部 (≧ 1,000 × 1,000)			備 考
						タテ筋	ヨコ筋	サナメ筋	タテ筋	ヨコ筋	サナメ筋	
W12	120	タテ ヨコ	D10 200 D10 200	シングル シングル		1-D13	1-D13	1-D10	1-D13	1-D13	1-D13	
W15	150	タテ ヨコ	D10 250 D10 250	ダブルチドリ ダブルチドリ		2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	
W18	180	タテ ヨコ	D10 200 D10 200	ダブル ダブル		—	—	—	—	—	2-D16	巾止ノ筋 D10 は 1m 毎 に 1箇所とする。
W21	210	タテ ヨコ	D13 D10 200 D13 D10 200	ダブル ダブル		—	—	—	—	—	—	風 止
CB10	100	タテ ヨコ	D10 400 D10 400	シングル シングル		1-D13	1-D13	—	1-D13	1-D13	—	

共通事項					梁貫通孔補強標準配筋要領				
1. コンクリート	PC=210kg/m ³ (四週圧縮強度)								
2. 土間コンクリート	FC=180kg/m ³ (四週圧縮強度)								
3. 鉄 筋	SD 30 (規格品)----- 下記以外 SD 35 (規格品)----- 小梁主筋								
4. 鉄筋継手	D19以上ガス圧継手 D16以下圧継手								
5. 設計地耐力	fe = 30 kN (長期)----- 支場地盤確認すること。								
6. 鉄筋径表示は下記に依る。									
	D10 D13 D16 D19 D22 D25								
	× × × × × ×								
7. 設備工事による壁開口個所は下記に依る。									
	300 × 300 4 箇所								
	350 × 350 2 ×								
	450 × 450 2 ×								
	500 × 500 1 ×								
8. 設備工事による梁貫通個所は下記に依る。									
	(450 × 1200) 5 (100F) 5 (125F) 1 (150F) 1 (175F)								
	450 × 1000 1 1 3								
	350 × 1200 1 2 2								
	400 × 800 1 2 1								
	350 × 700 2 1 1								
	400 × 700 3 1 1								
	400 × 650 1 4 1								
	350 × 550 5 1 1								
	400 × 600 1 1 1								

(注) 特記なき限り下記に依る

1. 補強配筋図は 標準配筋要領図 2 に依る。

雑配筋詳細図

